

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: R6年 2月 20日(予定)

事業所名 放課後デイGranny弘前

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2	基本は定位置での支援であるが、ベッドご利用の方がいる場合、配置を変更して対応させて頂いている。	利用定員とスペースは、規定通りであるが、利用者様の配置等を工夫して、過ごしやすく支援に最適な空間としたいと思います
	2	職員の配置数は適切である	8	0	現在、利用者様に対してマン・ツ・マン以上の配置で対応させて頂いている。	利用者様の安心・安全を最優先とした、職員配置を今後も徹底して継続してまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	0	ご意見等には、柔軟に対応させて頂きたいと思っております。	今後も、ご意見などを参考にさせて頂き、対応してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3	日々の業務の振り返りは行っている。(但し、全員ではない。)	より広く振り返りに参加できる、時間を作っていきたいと考えます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	保護者様の意向については、評価表によるアンケートを実施している。業務改善に努めている。	今後も、評価表等を活用して、業務改善に努めていきたいと考えます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	ホームページ、に公開している。会報(Granny弘前だより)には、HPのQRコード記載。フェイスブックにも載せている。	これからも、自己評価表を公開していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	6	第三者委員は依頼している。	第三者委員は依頼している為、今後評価をいただき、業務の改善につなげていきたいと考えます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	オンライン研修等も活用している。スタッフからの希望があった研修への参加も支援している。	これからも、スタッフの資質向上の為、研修は積極的に活用していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	相談支援事業所の計画も反映させている。	利用者様、保護者様のニーズや課題をより深く拾い上げ、計画を策定していきます。5領域に関して、計画に盛り込んでいきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	6	医ケア判定スコアは用いている。	現状を鑑み、検討してみます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	3	実施するプログラムに応じ、協働して計画を立てている。	立案に際して、広く意見を募り、実施に置いては、内容の周知を図っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	季節感を持った作品作り、壁面構成等行っている。	今後も、季節感を持った課題、パラエティーにとんだ課題等の設定に努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2	ご利用時間に応じた支援を設定している。	長期休暇の際は、外出行事等を検討していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	他者との関わりを通して社会性等が高まる為、場面に応じて、スタッフもしくは、他児童との活動を随時設定している。	個別、集団共に成長の上で必要な活動で有る為、支援に盛り込んでいきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	常勤スタッフ4名により打ち合わせを行って、他のスタッフへは、出勤後随時伝達している。	出勤時間の違いが有る為、今後も時間差での確認作業とします。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	常勤スタッフ4名により振り返りは毎日実施している。そこで出た課題・問題等は、他スタッフへ伝達している。	一律に全員での振り返りは出来ない状況であるが、常勤でないスタッフの意見・問題提起等はその都度拾い上げるようにし、対応していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	ご家族様への連絡帳等で、利用者様の状況を把握し対応している。	よりPDCAサイクルに組み入れる事ができる様式への検討もしていきます。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	見直しと共に、継続の必然性も考えにいれている。	モニタリングの精度を上げて行きたいと考えます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	1	利用者様の状況に合わせた組み合わせを心掛けている。	5領域も組み込んだ計画・支援にしています。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	児発管はもちろんであるが、看護・リハスタッフなどの参加も設定している。	今後も適材を考慮した会議等への参加をこころがけます。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	送迎時は、先生とのコミュニケーションを取り、対応している。	学校との連絡調整は重要と考える。今後も密な連携を心掛けます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	1	医療の利用者様に対しては、主治医の指示書を読み、対応している。必要に応じ、手技の指導も受けている。	今後も医療との連携等は構築していく。特に青森県小児在宅支援センターとの協働は必須と考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	児童発達支援事業所との連携は実施している。	今後も連携は取っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	8	現状では実績無し。非該当。	今後障害福祉事業所への移行が発生した場合は、連携は取っていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	青森県小児在宅支援センターとの連携は密に取らせて頂き感謝している。	専門機関の指導、研修等は積極的に受けたいと考えます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	5	居住地域交流に参加されている、利用者様はいる。	医療的ケアスコアの高い利用者様が多い為、感染症リスクが重大な症状を引き起こす事が想定され、(特に呼吸器系)一般のお子様との交流は難しい側面があります。しかし、何らかの関わりを持てる設定を模索したいと考えます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	6	協議会への参加は、無いが、協議会発行の資料などは、参考にさせて頂いている。	機会があれば、参加させて頂きたいと思えます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	ご家族とのコミュニケーションは大事な事と認識し、職員に徹底させている。	今後もご家族様とは、コミュニケーションを密に取り、共通理解の下支援に当たりたいと考えます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	6	個別で、医療的、機能訓練関係などの提案支援は行っている。	基本的にご家族に学ぶ事の方が多いが、参考になる事項、支援出来る事等に関しては、アドバイス出来ればと考えます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に説明させていただいている。	今後も丁寧な説明を心掛けます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	ご家族からの電話は、24時間繋がる状態にしている。又、その旨お伝えしている。	いつでも、ご相談に応じる事が出来る体制は継続させて頂きます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	事業所内は、レスパイト等でご利用頂いている。	今後全体会の開催を検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	苦情には、即座に対応する体制としている。	今後も苦情については、真摯な態度で対応させて頂きます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	毎月お便り(Granny弘前だより)を発行させて頂いている。	今後も継続していきます。
	35	個人情報に十分注意している	8	0	会報での顔が映る場面でのご家族への確認を行っている。	今後も個人情報には留意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	非言語的コミュニケーションも用いて意思の疎通に努めている。	今後もいろいろな手段を用いての意思疎通に努めていきます。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4	町内会に加入し、清掃・草刈り作業などには参加している。	事業所への招待は、していないがいつでも見学出来る体制にはしています。今後検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1	各種マニュアルは策定している。	周知徹底を図ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	避難訓練は年2回実施している。	非常災害への備えを強化していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	定期研修を実施している。	虐待防止に事業所一丸となり、取り組みます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	定期研修を実施している。	計画書への記載も徹底したいと考えます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	ご家族への聞き取りは、必ず行っている。	必要な場合は医師の指示書に従った対応を行っています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ヒヤリハットは記録に残す事になっている。	特に、軽微なりiskを見逃す事無く、事故を未然に防げるよう気を付けていきます。	